

佐井寺小学校の校区変更についての説明会資料（千里山高塚対象）

平成14年（2002年）8月3日

1. 千里山高塚から千里第二小学校への通学路について

比較的安全と考えられる通学路を前回の説明会資料で提示しましたが、自転車の通行による危険性の指摘とともに、地域内全体の交通量を減らす対策を求める意見がありました。地域内全体の交通量を減らす対策については、他の地域にも広く影響が及ぶ非常に大きな問題であり、すぐに結論を出すことは困難な問題であると考えています。千里第二小学校への通学路としては、前回お示しした道のほかに資料1に新たに追加してお示しした千里山松が丘の南側を通る道についても比較的安全な通学路であるとと考えています。

2. 千里第二小学校の児童数推計について

千里第二小学校の児童数の推計が、281戸の集合住宅開発による児童数増加を見込んで大きく変わっていないのではないかと指摘がありましたが、教育委員会では、これまでの集合住宅開発による児童数増加の実績をもとに開発戸数に対する児童の出現率を出し、それをもとにして今後の開発による児童数の増加を予測しているところです。この出現率に基づいて予測をしますと、平成14年度中に入居見込みの23戸分では、0歳～5歳児までの各年齢で1名ずつ増加し、平成15年度中に入居見込みの258戸分では、0歳～5歳児までが各年齢12名ずつ、小学校1年生～3年生までが各学年7名ずつ、小学校4年生～6年生までが各学年5名ずつ増加する予測になります。最初の説明会の資料でお示しをした児童数推計は昨年6月に実施したものであり、前回お示しをした児童数推計は今年6月に実施したものですので、推計の基礎になる地域内の0歳～5歳児の数も少し変化しておりますが、その実際の子どもの数に開発で予測される増加を見込んで推計を出しているところです。推計の詳しい数字は資料2のとおりです。

3. 佐井寺小学校区・佐井寺中学校区全体を調整区域とすることについて

佐井寺小学校区・佐井寺中学校区全体を調整区域にすれば、変更対象地域以外でも佐竹台小学校や千里第二小学校、高野台中学校、第一中学校に移っていただける方がいるのではないかとのご意見をいただきました。今回校区変更というご無理をお願いするにあたっては、在校生の通学校などについて特例的に選択が可能という弾力的な

扱いをしましたが、この扱いについても一定期間で解消されるものと考えております。教育委員会としては、基本的には調整区域をつくることについては、地域に根差した学校づくりや地域ぐるみで子どもを育てるといった観点から好ましくないと考えております。

また、千里山高塚36番・41番を自治会活動などのつながりから佐竹台小学校区に変更してはどうかとの意見があり、予備調査の結果も踏まえて検討しましたが、基本的には当初の計画どおり千里山高塚28番～41番は千里第二小学校への変更といたします。

4. 0歳児～5歳児を対象にした学校見学会について

0歳児～5歳児についても在校生と同様に学校見学会を実施してほしいという要望がありました。従来より新入生の保護者対象の入学説明会は、各学校で2月頃に実施されておりますが、それまでに学校見学会を開催することについても検討しております。

5. 佐井寺小学校を増築することについて

児童の増加に対して、増築で対応することができないのかという意見をいただきましたが、大規模校のデメリットとして「運動場などで子どもが自由に動き回れない」「特別教室などの学校施設の使用に制限を受ける」「人数が多くて息苦しいと感じている子どもがいる」といったことが指摘されており、これ以上増築を重ねることについては、そういった教育環境をますます悪化させることになることから、困難なものと考えております。

千里山高塚 28 ~ 41 番から千里第二小学校への通学路



資料2

千里第二小学校の児童数推計

平成13年6月実施推計

	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
学年	児童数	学級数												
1年	114	3	121	4	110	3	104	3	105	3	131	4	129	4
2年	109	3	116	3	121	4	110	3	104	3	105	3	131	4
3年	112	3	111	3	116	3	121	4	110	3	104	3	105	3
4年	110	3	114	3	111	3	116	3	121	4	110	3	104	3
5年	118	3	111	3	114	3	111	3	116	3	121	4	110	3
6年	122	4	119	3	111	3	114	3	111	3	116	3	121	4
普通学級小計	685	19	692	19	683	19	676	19	667	19	687	20	700	21
養護学級	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2	7	2
計	692	21	699	21	690	21	683	21	674	21	694	22	707	23

H13 幼児数

0歳	125
1歳	127
2歳	101
3歳	100
4歳	106
5歳	117

開発による増加分

平成13年度中に82戸(0歳～5歳は各4名、1年～3年は各2名、4年～6年は各1名の増加予測)

平成14年6月実施推計

	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
学年	児童数	学級数												
1年	115	3	113	3	111	3	105	3	138	4	136	4	107	3
2年	115	3	115	3	120	3	111	3	105	3	138	4	136	4
3年	107	3	115	3	122	4	120	3	111	3	105	3	138	4
4年	111	3	107	3	122	4	122	4	120	3	111	3	105	3
5年	116	3	111	3	112	3	122	4	122	4	120	3	111	3
6年	114	3	116	3	116	3	112	3	122	4	122	4	120	3
普通学級小計	678	18	677	18	703	20	692	20	718	21	732	21	717	20
養護学級	8	2	8	2	8	2	8	2	8	2	8	2	8	2
計	686	20	685	20	711	22	700	22	726	23	740	23	725	22

H14 幼児数

0歳	94
1歳	123
2歳	125
3歳	92
4歳	98
5歳	112

開発による増加分

平成14年度中に23戸(0歳～5歳各1名の増加予測)

平成15年度中に258戸(0歳～5歳は各12名、1年～3年は各7名、4年～6年は各5名の増加予測)